自治医科大学におけるAV資料の管理について(1)

On Managing AV Materials in Jichi Medical School(1)

長江 一彦*・奈良岡 功*・鈴木 康綱*

前田 雄二*・青木 孝雄*

自治医科大学図書館AV資料検討グループ

Abstract: It is frequently stated that AV materials is one of the most efficient media in medical education. But few libraries have audio visual collections. Therefore, it seems that most libraries have no clear policy and method of managing AV materials in our country.

In this paper we discussed some following problems about managing AV materials in Jichi Medical School Library.

- 1) scope and type of AV materials
- 2) policy and method of managing AV materials
- 3) management unit of AV materials as property in our library

I. はじめに

医学教育におけるAV資料の効果については、近年、とみに増大化する教授内容と教授方法論(教えるべき知識のミニマムエッセンシャルズと診療・研究の方法論の伝授)をめぐる議論の中で、色々の機会に言及されており、学習効果を上げる上で、AV資料が極めて有効な教育媒体であるとの認識が急速に高まりつつある。

ひるがえって、従来、我が国の医学図書館にあっては、図書以外のこれらAV資料を積極的に収集、運用しているところは少く、ために、現実には教材としての重要性は認識されているにも拘わらず、大方の図書館では、AV資料の管理運用に対する明解な方針と方法論を持たないまま今日に至っているのが現状のように思われる。

当館では、大学設立時より、AV資料のもつ学習効果に着目し、教材としてのカリキュラムへの積極的導入を目途とした、AV資料の管理運用を図書館運営の基本的方針の一つとしてとりあげ今日に至っている。しかしな

がら設立以来8年を経過している本学にあって、当初の目的は未だ地についた形で達成されたものとはなっていないのが現状である。現実には、これまでのところは、専ら、図書館活動のあらゆる面で、創設の事業に取り組んできたのであり、全体としてみれば、量的に資料を処理してきた感が強く、システムの構築も、質的な面への積極的な努力も意あまって舌足らずの感を免かれない。AV資料の管理についても、この例にもれず、自負すべき特別の実績を持ち合せていない。最近になって、ようやく、数年来の問題解決に向って、初心に立ち返って、本格的な検討に着手したところである。以下に、当館に於ける検討内容と問題点について報告したい。

本稿では、主として、整理運用の具体的方法論を展開するにあたっての前提条件ともなるべき①AV資料の範囲とその種類、②管理運用の方針と方法論、③財産としての取扱い単位の3点について、当館の考え方を示し、管理運用の実際については、第2報で報告することとしたい。

本論に入る前に我々がAV資料を扱うことの意味は何かについて少しく言及したい。AV資料とは何かということより、我々にとっては何故にAV資料が医学教育の中で重要であるかがより重大な設問である筈である。

* Kazuhiko NAGAE, Isao NARAOKA, Yasutsuna SUZUKI, Yuji MAEDA and Takao AOKI, Jichi Medical School Library, Minamikawachi, Tochigi, 329-04

(昭和55年3月1日 受理)

では何をもって、重要と認識し得るか？ それは少くとも図書館サービスが医学教育に資するためにあるという建前に沿ってというなら医学教育の内容そのものに深く関連しての話でなければならない。そして、このことは、とりまなおさず、教育内容について、図書館側がどの程度知っているか、もしくは知る努力をしてきたかに関連することである。この点が極めて大切な点であるというのが我々の認識の第一段階である。医学教育の課程と、教授内容について、これまでの図書館は、余りにも立ち入らなすぎたのではないかという反省が今我々にはある。少くとも、医学図書館の重要な柱である教育的機能について、言葉の概念ではなく、内容として、我々は、どのように知っているか、もしくは知らねばならないか。従って知らない部分に対しては、どのような努力を払えば、情報資料を扱い、これを教育に有効に反映させる役割を満足させ得るかということが問題であり、このような問題意識のもとで教育を考え、授業内容を考えて初めて、視たり聴いたりするAV資料の重要性を認識し得るのであるという極めて自明の、また初歩的レベルで我々が問題に対処していることを述べておきたい。その中で初めて、人体の構造の理解がどのように厳しい解剖実習のもとで行われるのか、ベッドサイドティーチングでの心音の聴診が、皮膚疾患の鑑別診断が、X線での鑑別診断がいかに難しいかを知ることによって、資料情報（この場合AV資料）が教育に資する意味を明確にしよう。そのための管理論、サービス論でありたいというのが我々の態度である。

II. AV資料の範囲と種類

現在、医学関係で扱われるAV資料の範囲と種類は、概ね、次のようなものである。

視覚資料（映像情報）

1 VTR

- i) オープンテープ
- ii) カセットテープ
- iii) ビデオデスク

2 フィルム

- i) 16mmフィルム
- ii) 8mmフィルム
 - ・オープンフィルム
 - ・カセットフィルム

3 レントゲンフィルム

4 スライド

- i) マウント式スライド（1駒スライド）

- ii) フィルムストリップスライド

- iii) 立体スライド

5 模式図

聴覚資料（音声情報）

1 音声テープ

- i) オープンテープ
- ii) カセットテープ

2 音声デスク

- i) レコード
- ii) フォノシート

実物・模型

1 標本

- i) 形態学的標本
- ii) 組織学的標本

2 各種模型

これらのうち最も一般的なものは、カセットVTR、16mmフィルム、マウント式スライド、カセットテープ等であり、次いで、8mmフィルム、フィルムストリップスライド、VTRオープン、レコード等であり、実物・模型等は、現実には標本室扱いとなっている。当館での取扱いの対象は目下のところ上述の実物・模型を除いた資料である。

III. 管理の方針と方法論

ここで、管理上、特に注意すべき点は、これらの資料が夫々の種類毎に規格のあることは勿論であるが、VTRや、今、話題になっているビデオデスクのように、規格の統一されていないものがあり、実際に使用する際に、用意すべき機材が異ってくる点と、これらの資料は、単一の種類のものもあるが、中には、数種類のものが組合わされて1組の教材となっているものが可成り多くあることである。また、形態的にも物性状態も変化に富んでいるためこれらを効率的に収容し、運用することは図書資料と異なり、可成りの困難を伴う。従って整理・運用の方針を決定するにあたっては、これらのことを充分踏えて検討が行われた。

その結果当館としては次のような方針を決定した。

①AV資料については、図書資料と一線を画し、物としてもすべてAV資料室に別置し、整理運用についても、図書資料の扱いとは別に考える。

②組合せ教材については、全て、資料の種類（形態）で分解し、それぞれを専用の容器に収納管理する。すな

VOLUME 1: NERVOUS SYSTEM

ANATOMY OF THE SPINE-10 Slides

Slide No.	Code No.
S0001 General Configuration	243
S0002 Atlas and Axis	244
S0003 Cervical Vertebrae	245
S0004 External Craniocervical Ligaments	246
S0005 Internal Craniocervical Ligaments	247
S0006 Thoracic Vertebrae and Rib Attachments	248
S0007 Lumbar Vertebrae	249
S0008 Ligaments of Spinal Column	250
S0009 Sacrum and Coccyx	251
S0010 Ligaments of Sacrum Coccyx	252

THE CENTRAL NERVOUS SYSTEM-22 Slides

S0011 Dura Mater and Middle Meningeal Artery	221
S0012 Arachnoid and Pia Mater	222
S0013 Venous Sinuses-Sinus Durae Matris	223
S0014 Blood Supply of Brain 1	224
S0015 Blood Supply of Brain 2	225
S0016 Blood Supply of Brain 3	226
S0017 Lateral Aspect of Brain	227
S0018 Medial Aspect of Brain	228
S0019 Cranial Nerves	229
S0020 Basal Ganglia	230
S0021 Cerebrospinal Fluid Circulation	231
S0022 Fourth Ventricle and Medulla Oblongata	232
S0023 Ventricles of Brain	233
S0024 Cranial Nerve Nucle	234
S0025 Thalamus	235
S0026 Spinal Cord in Situ	236
S0027 Exit of Spinal Nerves	237
S0028 Sections Through Spinal Cord	238
S0029 Spinal Membranes and Nerve Roots	239
S0030 Arteries of Spinal Cord	240
S0031 Venous Drainage of Spinal Cord and Vertebral Column	241
S0032 Dermal Segmentation	242

FUNCTIONAL NEURO-ANATOMY-20 Slides

S0033 Somesthetic System-Body	253
S0034 Somesthetic System-Head	254
S0035 Taste	255
S0036 Control of Respiration	256
S0037 Olfactory System	257

図1 AV資料管理台帳

わち、テキストはテキストで書架(AV室内)で管理し、スライドはスライドでスライドデックス(スライド収納ケース)で管理する。

スライド

CIBA COLLECTION

by Frank H. Netter

Volume 1 NERVOUS SYSTEM

Anatomy of the Spine	10枚
The Central Nervous System	22
Functional Neuro-Anatomy	20
The Autonomic Nervous System	20
Anatomy and Functional Relations of the Hypothalamus	18

Volume 2 REPRODUCTIVE SYSTEM

Development of the Genital Tracts and Functional Relationships of the Gonads	3
Normal Anatomy of the Male Genital Tract	18
Diseases of the Prostate and Seminal Tract	17
Diseases of the Scrotum and Testis	23
Normal Anatomy of the Female Genital Tract and its Functional Relationships	33
Diseases of the Vulva	10
Diseases of the Vagina	16
Diseases of the Uterus	18
Diseases of the Fallopian Tubes	12
Diseases of the Ovary	21
Anatomy and Pathology of the Mammary Gland	19
Pregnancy and its Diseases	25
Intersexes	4

Volume 3 PART 1, UPPER DIGESTIVE TRACT

Anatomy of the mouth and Pharynx	29
Diseases of the mouth and Pharynx	33
Anatomy of the Esophagus	13
Diseases of the Esophagus	19
Anatomy of the Stomach and Duodenum	16
Diseases of the Stomach and Duodenum	32
Functional and Diagnostic Aspects of the Upper Digestive Tract	29

Volume 3 PART 2, LOWER DIGESTIVE TRACT

Development of the Digestive Tract	6
Anatomy of the Abdomen	34
Anatomy of the Lower Digestive Tract	34
Functional and Diagnostic Aspects of the Lower Digestive Tract	26

図2 利用者用AV資料リストの一部

③整理の基本方針として

- i) 出来るだけ内容が具体的に分る方法をとる。
- ii) 分解した組み合わせ教材の相互関連をつける。

こととし具体的方な法論としては、

- i) 全てのAV資料は取扱いの最少単位で、図書館資料である旨の所蔵表示と形態別の一連No.を与える。

ii) 財産管理上の台帳とは別にこのNo.単位でのリストを作成する(図1参照)

iii) 検索性カードは、図書用カードと別置き、記録単位は本来の教材の単位で行う。また組合せ教材については内容表示を行いこのもとにi)の一連No.の範囲を明示する。

iv) 利用者に対しては出来るだけ、冊子体目録等で収集した資料内容を周知する(図2は図1の部分の利用者用冊子体目録の一部)。

これらの方針決定に当って問題となったのは、図書資料とAV資料の組合せ教材についての取扱いであった。より具体的には、図書の一部、又は、付録としてついているレコードやソノシートのような場合、特に、全集、体系中の1巻についているような場合の処理をどうするか、更に、組み合せ教材中、図書のみを切り離してもそれ自体充分利用価値のある会話の教材のような場合の処理をどうするかにあった。前者の場合は、資料としてはあくまでも図書資料が主体であるため、整理の基本方針は図書扱いとし、付録のみを、使用の機器や場所との関連でAV室のサプリメント扱いコーナーに移し、図書にはその旨記入しておくこととした。後者の場合は、1

セットのみの購入の場合は全体をAV資料とみて、図書も、AV資料もAV室に別置運用することとし、特に必要があって、図書を一般書架に出す場合は、この分のみ別途購入、図書資料として一般図書と同様に扱うこととした(但し、当然のことながらこれらのことが可能なのは、テキストのみ分売可能である時に限られる)。

IV. 財産管理上の取扱い単位

最初に問題となるのはこれらのAV資料を果して備品扱いの登録をして良いかどうかである。この点については、図書資料に比し、より消耗品的事であることは明らかであるが、価格が高価であること、貴量品であるという感覚等で、現状では矢張り備品として取扱わざるを得ないというのが結論である。登録の単位としては、基本的には、あくまでも教材としてのセット単位であり、前述した、検索性カードの記録の単位と同一と考えるべきである。従って組合せ教材の場合は、テキスト+スライド+カセットテープの様な場合いずれにも同一の登録No.が付与され、それぞれ同一No.内のIDは単位資料(形態別)の一連No.との組合せで行うことになる。